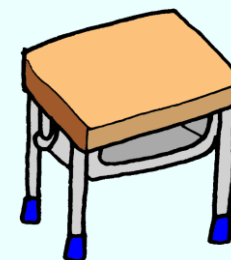




東 部 地 域



市立小・中学校の
将来のあり方について

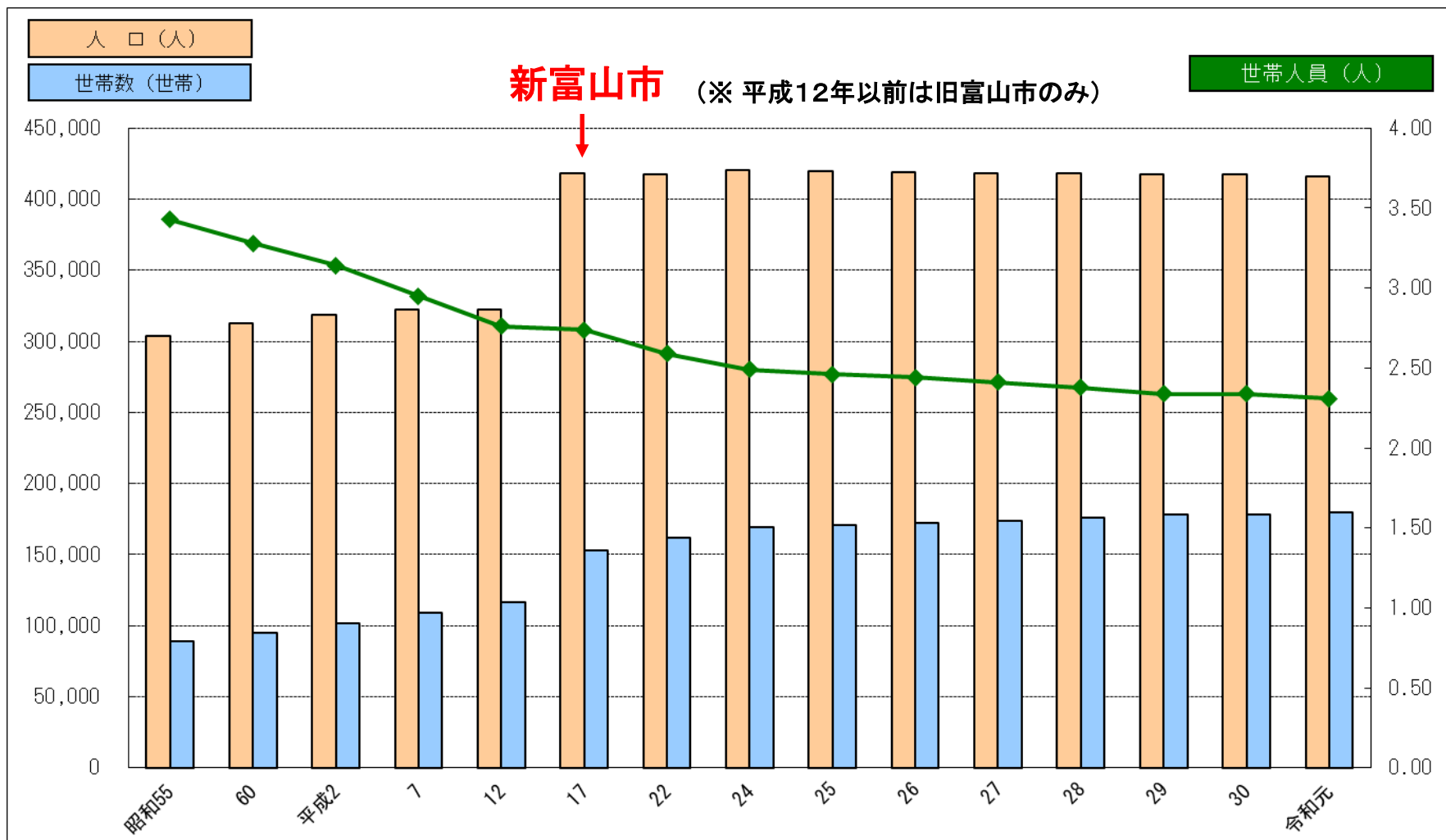


富山市教育委員会

1 富山市全体の状況

(1) 人口の推移

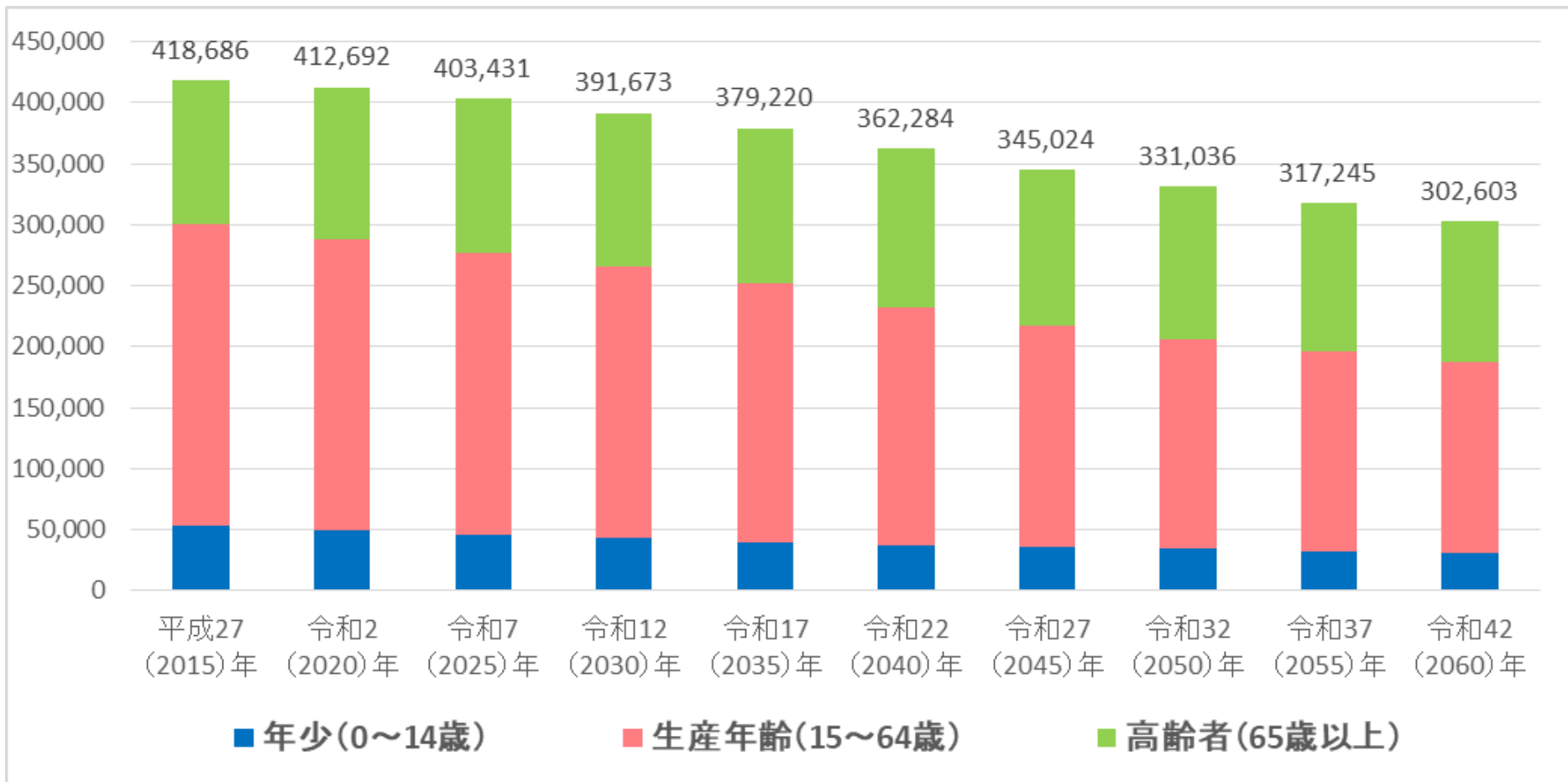
※ 各年9月末



1 富山市全体の状況

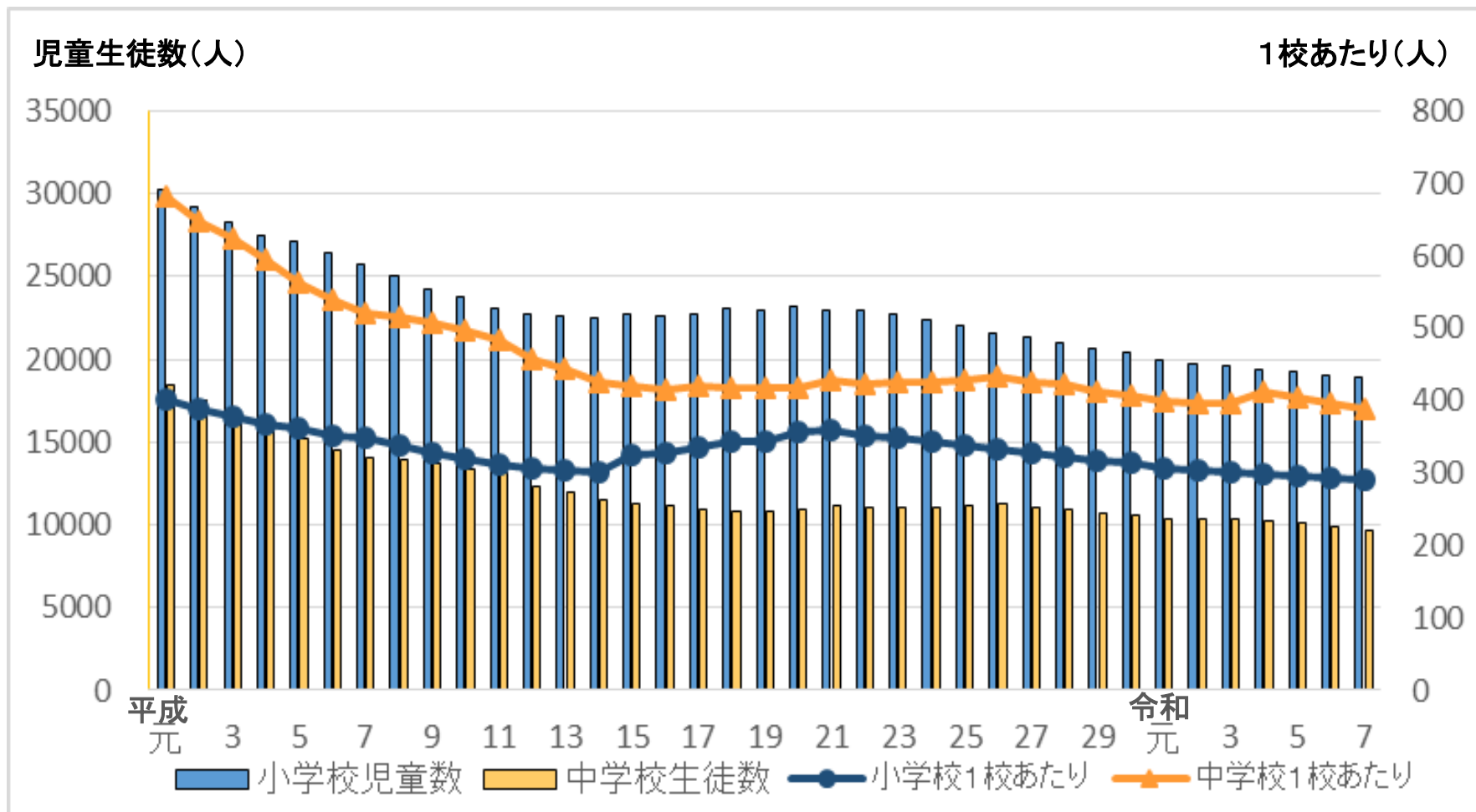
(1) 人口の推移

人口(人)



1 富山市全体の状況

(2) 市立小・中学校の児童生徒数の推移



1 富山市全体の状況

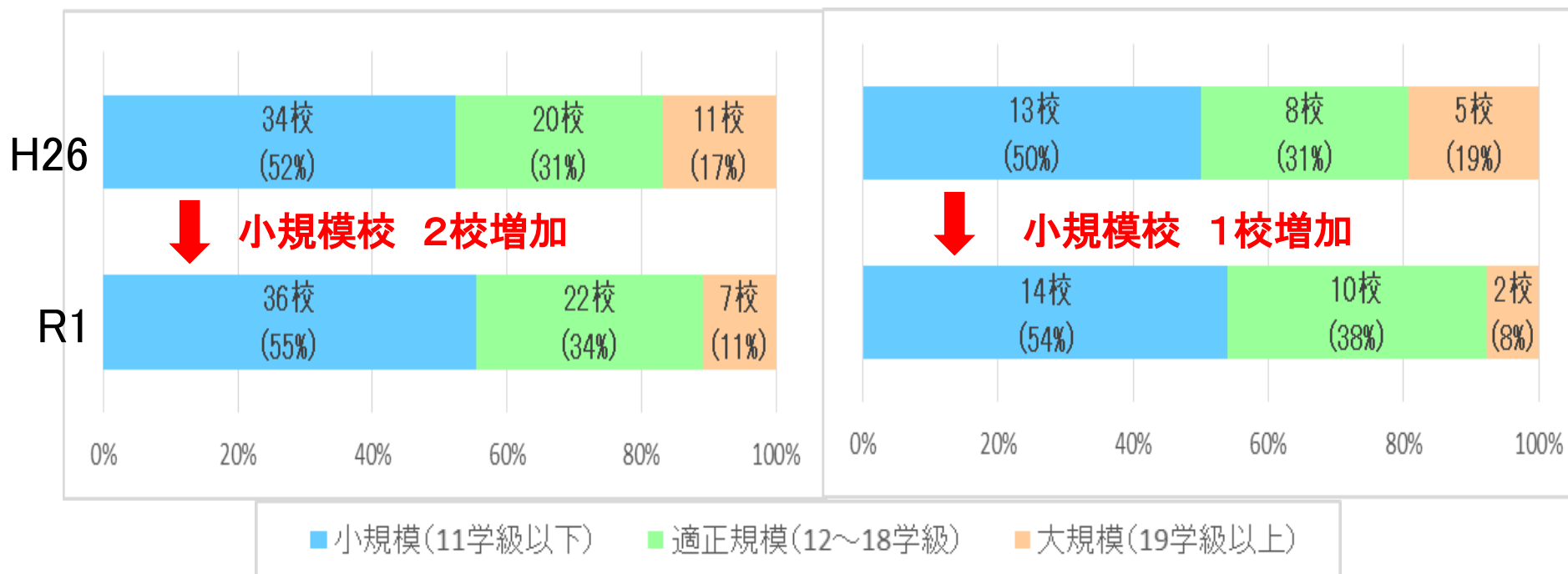
(3) 市立小・中学校の学校規模

標準（適正規模）：1校あたり12～18学級

(※学校教育法施行規則)

小学校

中学校



市立小・中学校の5割以上が小規模校

2 東部地域の状況

(1) 人口の推移

人口(人)

94,000

92,000

90,000

88,000

86,000

84,000

82,000

0

平成 17

22

24

25

26

27

28

29

30

令和 元

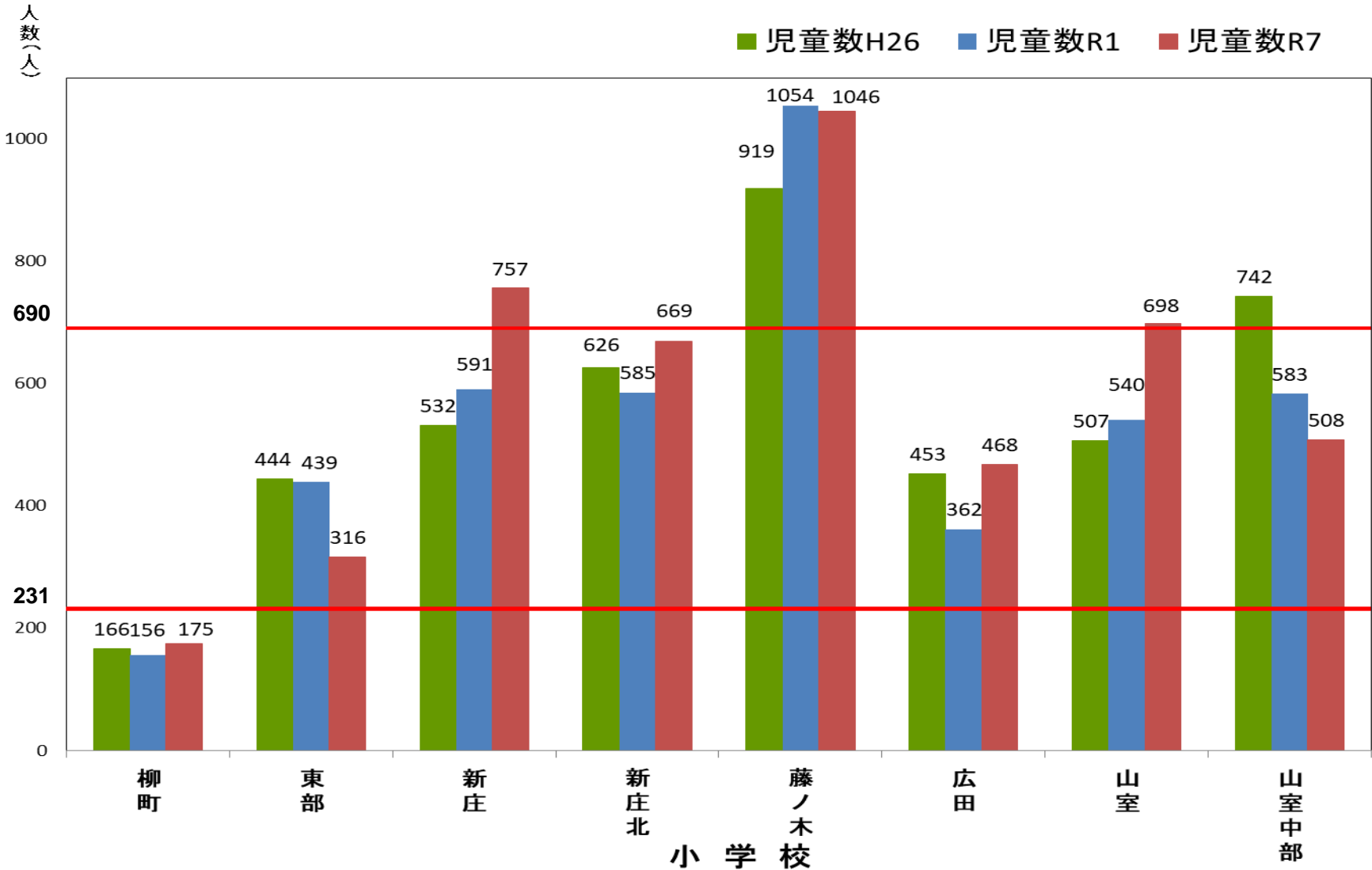
【内訳】

	H17		R1	
柳町地区	6,549人	→	6,070人	△ 479人
東部地区	9,056人	→	8,345人	△ 711人
新庄地区	10,916人 (H22)	→	12,365人	+1,449人
新庄北地区	11,574人 (H22)	→	12,711人	+1,137人
藤ノ木地区	13,158人	→	15,907人	+2,749人
広田地区	9,669人	→	9,594人	△ 75人
山室地区	11,043人	→	11,846人	+ 803人
山室中部地区	11,035人	→	11,418人	+ 383人

※ 各年9月末 6

2 東部地域の状況

(2) 児童生徒数の推移(見込み)

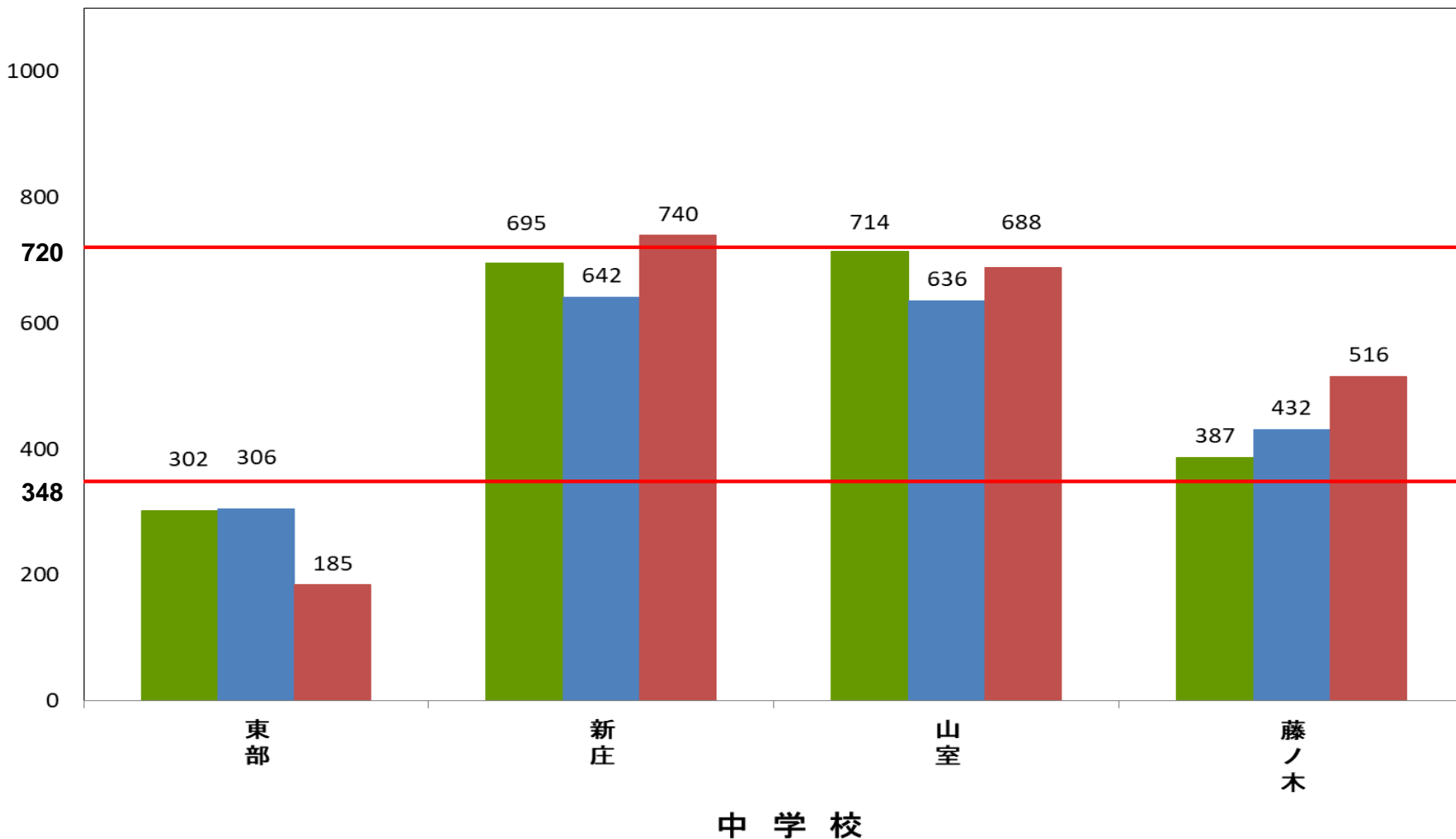


2 東部地域の状況

(2) 児童生徒数の推移(見込み)

人数(人)

■ 生徒数H26 ■ 生徒数R1 ■ 生徒数R7



2 東部地域の状況

(3) 学校規模の推移(見込み)

児童数(人)

小学校	年度	学級数	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
柳町小	H 2 6	6	23	28	33	29	32	21	166
	R 1	6	23	33	20	33	25	22	156
	R 7	6	28	35	25	21	40	26	175
東部小	H 2 6	14	66	68	83	70	85	72	444
	R 1	15	75	78	73	84	62	67	439
	R 7	12	38	49	59	46	67	57	316
新庄小	H 2 6	17	96	82	88	92	74	100	532
	R 1	19	127	82	91	104	90	97	591
	R 7	21	139	140	116	137	114	111	757
新庄北小	H 2 6	19	109	102	102	106	102	105	626
	R 1	18	89	104	85	99	103	105	585
	R 7	19	132	94	114	118	107	104	669
藤ノ木小	H 2 6	27	158	181	158	133	158	131	919
	R 1	31	171	182	174	172	191	164	1,054
	R 7	31	153	185	167	190	171	180	1,046
広田小	H 2 6	13	82	62	83	72	80	74	453
	R 1	13	58	51	51	46	72	84	362
	R 7	15	101	84	85	72	70	56	468
山室小	H 2 6	17	87	85	89	86	78	82	507
	R 1	18	103	79	97	87	89	85	540
	R 7	21	117	107	141	109	110	114	698
山室中部小	H 2 6	22	115	132	120	132	123	120	742
	R 1	18	95	91	82	100	100	115	583
	R 7	17	87	85	68	84	86	98	508

大規模 (19学級以上)

適正規模 (12~18学級)

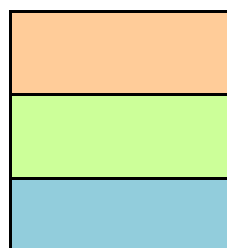
小規模 (11学級以下)

2 東部地域の状況

(3) 学校規模の推移(見込み)

生徒数(人)

中学校	年度	学級数	1年生	2年生	3年生	合計
東部中	H 2 6	9	89	113	100	302
	R 1	9	86	110	110	306
	R 7	6	55	72	58	185
新庄中	H 2 6	20	212	238	245	695
	R 1	17	197	240	205	642
	R 7	20	273	240	227	740
山室中	H 2 6	19	254	220	240	714
	R 1	17	200	208	228	636
	R 7	19	242	221	225	688
藤ノ木中	H 2 6	12	130	123	134	387
	R 1	12	160	142	130	432
	R 7	15	167	178	171	516



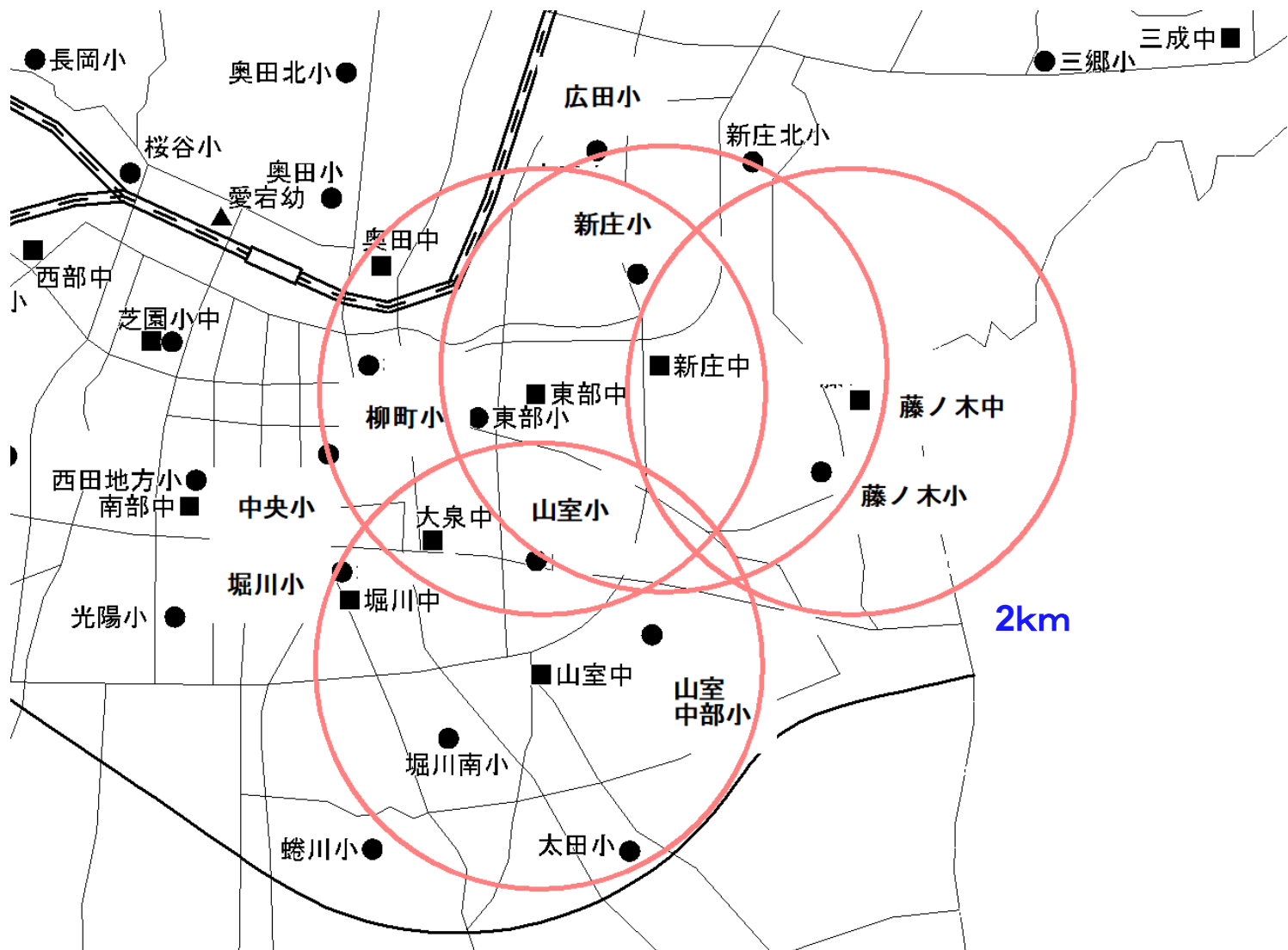
大規模 (19学級以上)

適正規模 (12~18学級)

小規模 (11学級以下)

2 東部地域の状況

(4) 学校の位置



2 東部地域の状況

(5) 学校の沿革(建物状況)

柳町小

H6 校舎大規模改造竣工

H21 校舎耐震補強工事竣工

東部小

H26 校舎改築竣工

新庄小

H22 校区の変更(新庄北小の開校)

H26 体育館改築竣工

H27 校舎大規模改造竣工

新庄北小

H22 新庄小学校から分離、開校(新築)

2 東部地域の状況

(5) 学校の沿革(建物状況)

藤ノ木小 H26 校舎改築・大規模改造竣工

広田小 S63 校舎改築竣工

山室小 H19 校舎改築・大規模改造竣工

山室中部小
H10 校舎大規模改造竣工
H16 校舎増築竣工
H22 体育館増改築竣工

2 東部地域の状況

(5) 学校の沿革(建物状況)

東部中

H30 校舎耐震補強工事竣工

新庄中

S63 校区の変更(藤ノ木中の開校)

H19 校舎大規模改造竣工

H23 体育館改築竣工

山室中

H22 校舎大規模改造竣工

藤ノ木中

S63 新庄中学校から分離、開校(新築)

3 小規模校における教育

(1) 小規模校のよさ

- 一人ひとりの子どもに対して、きめ細かな指導ができる。
- 学校行事で子どもたちの活躍の場が多い。
- 他学年や地域の方と交流活動がしやすく、親交を深められる

3 小規模校における教育

(2) 小規模校の課題

小・中学校共通

- クラス替えがないため、多様な考えに触れる機会や、社会性や規範意識を身につける機会が得られにくい。
- 体育のバスケットボール等の団体競技や音楽の合唱等が行いにくい。
- 経験年数、専門性、男女比など、教員をバランスよく配置できない。

3 小規模校における教育

(2) 小規模校の課題

小学校

- 複式学級となる場合には、教員が複数学年分の指導準備を行うこととなり、各学年へのきめ細かい指導が行いにくい。
- 教務主任が学級担任を兼務するなど、一人の教員にかかる負担が大きくなる。

中学校

- 9教科10科目すべての教員がそろわず、一部の教員が専門以外の教科の授業を行わなくてはならない。

※ 教科担当教員の配置 1校3学級→6人

⇒ 9教科10科目の対応が難しい

- 開設できる部活動の数に制約が生じる。

4 適正規模、適正配置に向けた取り組み

(1) 小規模校

- ① 学校の統合
- ② 小規模特認校制

(2) 大規模校

- ① 学校の分離
- ② 施設の増築

5 学校規模に起因する デメリット緩和に向けた手段

(1) 小規模校

- ① 教員の加配置や複数校兼務
- ② 小中一貫教育、義務教育学校
- ③ ICT機器の活用

(2) 大規模校

- ① 教員の加配置



東 部 地 域



市立小・中学校の 将来のあり方について



～ おわり ～

ご清聴ありがとうございました

